

相模原中RC

会報

第 2274 回例会

10月21日 №14

よいことの
ために
手を取りあおう



会 長 藤本 恵介 幹 事 河野 崇

●友好クラブ

韓国・龍仁ロータリークラブ
国際ロータリー第 3600 地区
台湾・台中文心ロータリークラブ
国際ロータリー第 3461 地区

●姉妹クラブ

千曲川ロータリークラブ
国際ロータリー第 2600 地区

●提唱インターアクトクラブ

光明学園相模原高等学校



ゲスト卓話「ともにいき社会実現に向けた取り組み」

～ともに生きる社会かながわ憲章と当事者目線の障害福祉推進条例が目指すもの～
神奈川県福祉こども未来局

共生推進本部室

共生担当 課長 大野 智信氏

本日はお招きいただきありがとうございます。
前編は「ともに生きる社会かながわ憲章」
「当事者目線の福祉推進条例」、後編ともに生
きやすい社会実現に向けた具体的な取り組み
についてお話させていただきます。

◎津久井やまゆり園事件

・発生日時 2016年（平成28年）

7月26日（火）未明

・発生場所：津久井やまゆり園（県立の指定管
理施設）定員 160 名 主な対象：知的障害者

・概要：相模原市緑区所在の障害者支援施設に
刃物を持った犯人（元職員）が侵入し、利用
者が刺されるなどして、19名のかげがえの
ない
尊い命が失われ、27名が負傷した。（令和2年
3月死刑判決）

障がい者に対する偏見や差別的思考による犯行
加害者の主張に同調する人も出現しました。

平成28年10月14日

《ともに生きる社会かながわ憲章》の策定

県と県議会が、このような事件が二度と繰り返
されないよう、ともに生きる社会の実現をめざ
して策定されました。

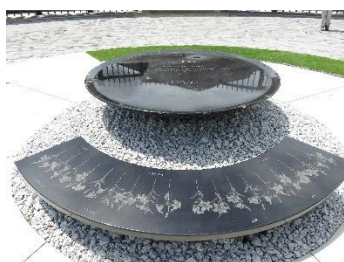
ともに生きる社会かながわ憲章

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日 神奈川県

（次ページへ続く）

「津久井やまゆり園鎮魂のモニュメント」



【当事者との対話を通じて】

- ・障がい当事者等との意見交換
- ・令和3年10月障害福祉サービス事業所アール・ド・ヴィーヴルでの意見交換
- ・にじいろでGO！（知的障がい者の本人活動）
- ・令和4年2月当事者団体ピープルファーストとの意見交換（Zoom）

【当事者目線の障がい福祉実現宣言（一部抜粋）】

強度の行動障がいの方に対して、周りの人や自分を傷つけるから、音や光などに過敏に反応し過ぎるから、長時間、部屋に閉じ込めておく、車いすに縛り付けておく、安全安心のためにはやむをえないということで、これまではそんな支援が当たり前のように行なわれていました。

私たちは部屋に閉じ込められている当事者ご本人の目線に立って考えます。

なぜ、あなたは周りの人や自分を傷つけるような行動をしてしまうのでしょうか。

もしかしたら、あなたは自分の気持ちをうまく表せないだけかもしれません。

自分の気持ちを聞いて欲しいと訴えているに違いないと考えて接すれば、全然違ったサポートができるはずです。

私たちはそんなあなたの心の声に一生懸命、耳を傾けます。

あなたの思いを受け止め、工夫をしながらサポートします。

そうすればきっとあなたは安心してくれるに違いない。それが私たちにとっても大きな喜びにつながるはずです。

その後、神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～制定。

令和4年10月21日に
当事者目線の
障害福祉推進条例を
公布しました。
4月1日から施行します。

▼ 基本理念（大事にすること）

1. 個人として尊重されること
2. 障がい者が自己決定できるようにすること
3. 障がい者が、希望する場所で、自分らしく暮らせること
4. 障がい者の可能性を大切にすること
5. 障がい者だけでなく、周りの人たちが喜びを感じられること
6. 全ての県民で地域共生社会を実現すること



共生推進本部室 HP
「みんなで読める版」

「わかりやすい版」の言い換え

◎県の責務▶ 県がすること

◎障害者の権利擁護

▶ 障害のある人の権利を守ること

◎人材の確保、育成

▶ 障害福祉の仕事をする人を増やして、育てること

後編「憲章の理念を広く知ってもらう」

①ともに生きる社会かながわ推進週間

～憲章策定日までの集中広報



「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念を普及するため、県庁舎内（県庁1階）に設置された展示スペースに、県民が自由に立ち寄り、展示を見学することができるようになりました。



7月26日～8月1日はともに生きる社会かながわ推進週間です。

（次ページへ続く）

②地域イベントなどでの広報



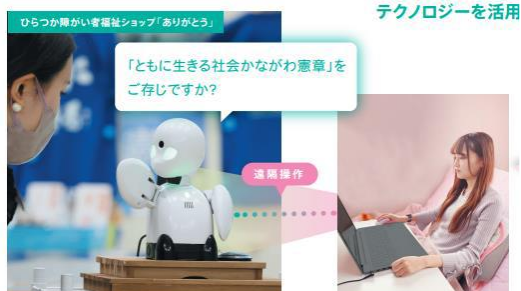
③企業・団体との連携による広報



④大学との連携による広報

- ともに生きる社会に関する講座の実施
 - ・県内学校に出向き、「ともに生きる社会」の実現について講座を実施。
- 共生社会実践セミナー
 - ・鎌倉女子大学⇒共生社会をテーマにした人形劇を児童に向けて上演。
 - ・神奈川工科大学⇒障がい当事者から助言を得た福祉機器・ロボット開発。
 - ・田園調布学園大学⇒津久井やまゆり園利用者と一緒に地元由来の津久井在来大豆を栽培。
 - ・神奈川県立保健福祉大学⇒車いすユーザーの生活に1日密着。
- 分身ロボットプロジェクト

分身ロボット「OriHime」を活用し、移動が困難な障がい者を県職員として在宅任用することにより、障がい者等の就労・社会参加に向けた新たなモデルとして、社会に展開の可能性を示す。



◎イベントで、「共生の場」を体感・楽しむ

①ともいきアートサポート事業

障がいの程度や状態にかかわらず、障がい者の美術作品「ともいきアート」を展示・創作する場の創出等を行う。



②ともいきゆうえんち

- ・インクルーシブな遊具体験
- ・障がいのある人も乗れるバイク乗車体験
- ・アートワークショップ「みんなで大きな絵を描こう」



③ともいきシネマ



④ユニバーサル農園

農業体験をとおして社会参加の促進を図るとともに、共生の場を創出した。



⑤ともいきメタバース



⑥インクルーシブビーチクリーン

w i t h 鎌倉海藻ポーク



会長の時間



皆さま、こんにちは。会長の時間を始めます。

一昨日の日曜日、光明学園高等学校の文化祭に参加してきました。参加された河野幹事、池之上会員、山口響会員、お疲れ様でした。今年は「世界のおかし屋さん」と題して世界のお菓子を販売するとともに、販売するお菓子と関わる国々が行っている支援・被支援について紹介し、利益をユニセフに寄付する企画で、3万円を超える募金ができるのとことと連絡がありました。

今日は、神奈川県 福祉子どもみらい局 共生推進本部室 共生企画グループの大野さん、岩本さんの卓話に先立って、「ともに生きる社会 かながわ憲章」と私たちの活動のつながりについて、少しお話ししたいと思います。

昨年11月、私は神奈川工科大学の三枝先生にお誘いいただき、「ともに生きる社会 かながわ憲章」を広めている共生推進本部室の方々と、電動車椅子サッカーチーム Yokohama Crackers (ヨコハマ・クラッカーズ) のキャプテン、永岡真理さんのお話を伺う機会がありました。

永岡さんは、生まれてから一度も自分で立ったことも歩いたこともないとのことでした。

7歳で電動車椅子を手にしたとき、「自分で動ける喜びを感じた」と笑顔で語られ、今では日本代表として世界の舞台で活躍されています。

当日、神奈川県の方から「当事者目線になることが大事」とのお話もあり、少し考えました。

偏見は“知らないこと”から生まれる。

知らないことで、無意識に線を引いてしまう。

けれど、実際に関わり合い、一緒に活動してみ

ることでしか、本当の理解は生まれない。

この「実際に関わり合うこと、一緒に活動してみる——それが本当の理解につながる」という気づきがありました。

その考え方は、まさに神奈川県が掲げる「ともに生きる社会 かながわ憲章」の理念そのものです。

その中に「私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域を実現します」という一文があります。“その人らしく暮らす”という言葉は、福祉の枠を超えた、人の生き方そのものを表しています。

働くこと、学ぶこと、楽しむこと、挑戦すること——そのどれもが尊重される社会を目指す、という強いメッセージだと思います。

そして、来年2月に開催する「ロボット大集合 in アリオ橋本」では地区補助金を活用し、後援として参加しますが、まさにその理念を形にする取り組みになると考えています。

このイベントは、社会的に弱い立場の方々だけでなく、来場者も出展者も、共に楽しみ、学び合うことを目的としています。

ロボットを通じて、人と人が関わり合い、共に活動することで互いを理解し合う——その“きっかけ”を作る場にしたいと思っています。

つまり、このロボットイベントは、「ともに生きる社会 かながわ憲章」の理念、すなわち『誰もがその人らしく暮らすことのできる地域』を実現するためのヒントを見つけるイベントでもあります。

ロボットというと、効率化や自動化のイメージが強いかもしれませんが、本当に大切なのは“人に寄り添う力”です。ロボットは人を支える道具であり、人と人をつなぐ架け橋でもあります。だからこそ私たちは、「実際に関わり合うことが本当の理解につながる」という思いを持ちながら、イベントを行いたいと思います。

今日の卓話を通じて、共に生きる社会のあり方を皆さんが自分ごととして感じ取っていただければと思います。(概要にて掲載)



☆藤本会長、河野幹事

本日は、神奈川県福祉こども未来局の大野さんと岩本さんにお越し頂きました。来年2月のロボットイベントの勉強という位置づけで「ともに生きる社会かながわ憲章」の話をして頂きます。よろしくお願いいたします。

☆田所 毅会員

本日、こども未来局の大野様、岩本様、よろしくお願いいたします。

☆竹田 繁会員、伊倉 正光会員

福祉こども未来局の大野様、岩本様、卓話ご苦労様です。

☆黛 裕治会員、佐々木 敏尚会員

大野智信様、岩本雄次様、本日はお越し頂きありがとうございます！本日は、卓話を宜しくお願い致します！

☆櫻内 康裕会員

こども未来局、大野課長、岩本主任主事、宜しくお願い致します。

☆横溝 志華会員

神奈川県福祉こども未来局の大野様、岩本様、卓話に来て頂いてありがとうございます。

☆田後 隆二会員

ゲスト卓話の大野様、岩本様、よろしくお願いいたします。

☆池之上 和哉会員

神奈川県福祉こども未来局の大野様、岩本様、ようこそ、本日はよろしくお願いいたします。

☆山口 響会員

神奈川県福祉こども未来局の大野様、岩本様、ゲスト卓話楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

本日のスマイル額 12,000円
今年度のスマイル額 277,300円



【近況スピーチ】

黛 裕治会員

そろそろ来年の入園の募集が始まる頃になりました。

少子化の影響はとても大きいと感じます。

本日ゲストの神奈川県こども未来局さんには別の課でお世話になっております。



【会員近況報告】

櫻内 康裕会員

早川会員についての報告ですが、しばらくお休みになりますので、復帰しましたらまた、よろしくお願いいたします。



【報告事項】

1. 第2780地区ガバナー事務所より

1) 公共イメージ・HPサミット開催の案内

日 時：11月27日（木）

場 所：相澤ビル8階藤沢市南藤沢22-7

16：30～受付、

17：00～公共イメージ・HPサミット

18：50～懇親会、20：00 閉会

*懇親会費：1人3,000円（当日徴収）

◎対象者：クラブ公共イメージ委員長、ホームページ委員長、IT関係担当者

◎返答期限：11月13日（木）

2) 9月17日付にて2025年手続要覧の地区財務の監査報告

（RI細則 15.060.4）に従い、地区資金会計記報告書を各クラブにお送りしました。メールでのクラブ投票決議の結果、各クラブから10月17日の期日までに反対票がなくご承認を頂いたことをご報告いたします。



〈ロータリーの友情報〉

酒好きロータリアン必携！！ (友10月号)

昨年12月、日本の「伝統的酒造り」は、ユネスコ無形文化遺産に登録され、日本酒、焼酎、泡盛は今、世界から注目を集めています。

各地ガバナー事務所ご協力のもと、「伝統的な酒造りを行うロータリアン蔵元」を募集したところ、全国各地の蔵元のロータリアン情報が集まりました。

いつも飲んでいる「あのお酒」がロータリアン蔵元で作られているものと分かれば、きっとおいしく感じられることでしょう。

◎四字熟語で味わう、酒のある人生

◆酒池肉林 (しゅちにくりん)

「度を越えた快楽は身を滅ぼす」という教訓が潜んでいます。

◆酔生夢死 (すいせいむし)

酔って夢のように生き、何も成さずに人生を終える、そんな生き方を戒める言葉です。酒に逃げ過ぎず、ちゃんと自分の人生を歩もうというメッセージでもあります。

◆杯酒解怨 (はいしゅかいえん)

酒を飲み交わすことで恨みを説くという意味。実際に、気まずかった相手と居酒屋で一杯やれば、意外と笑い話に変わることも。

これらの四字熟語はお酒を介して生まれた、教訓や人生の風景のようなもの。

酔いの中に、人間の本質が垣間見えることもあるでしょう。次に杯を手にする時、そこにどんな景色があるのでしょうか。少し胸を高鳴らせて飲む酒は、今回紹介した四字熟語以上の言葉を紡ぎ出すのかもしれない。

ロータリアンの仲間が造るお酒を手し、より豊かなひと時をお過ごしください。

例会スケジュール

- 10月28日 3クラブ合同夜間例会
18時30分点鐘 敦煌
- 11月 4日 ゲスト卓話「R財団月間」
定例理事役員会
- 11日 卓話
- 18日 クラブフォーラム
「50周年について」 藤本会長
- 25日 ゲスト卓話
神奈川工科大学 三枝先生

例会記録

点 鐘 12:30
会 場 中国名菜「敦煌」
司 会 黛 裕治SAA
斉 唱 ロータリーソング「我等の生業」
ソングリーダー 池之上 和哉会員
ゲスト 神奈川県福祉こども未来局
共生推進本部室 共生担当課長 大野 智信氏
共生企画グループ 主任主事 岩本 雄次氏

出席報告

会 員	出席 (対象者28名)	事前メイク者
32名	(Zoom 含) 16名	2名
欠席者	本日の出席率	修正出席率(10/7)
10名	76.66%	77.41%



●例会場 中国名菜「敦煌」 ●例会日 毎週火曜日
〒252-0231 相模原市中央区相模原 2-13-1

TEL 042-756-6555 FAX 042-756-6559

●事務局 〒252-0239 相模原市中央区中央 3-12-3
相模原商工会館 3F

TEL 042-758-5750 FAX 042-758-1605

●E-mail: rotary@tbg.t-com.ne.jp

12:30~13:30 ●編 集 親睦活動委員会
委員長: 畝住 悦子 副委員長: 阿部 毅
委 員: 竹田 繁、田所 毅、丸子 勝基、
早川 正彦、伊倉 正光、阪西 貴子、南 篤史
古屋 香織、山口 友彦、白崎 功、木下 裕介
柴田 喜文、池之上 和哉、高椋 大寛、小嶋 広明
宮本 烈温、山口 響、一ノ瀬 輝城、茂呂 雄一